

# アジア保健研修所(AHI)ネパール震災支援

背景: AHIは1980年からアジアの現場で働くNGOワーカーの参加型地域開発、地域保健にかかる参加型リーダーシップ研修を開催してきた。この研修参加のため来日した研修生は現在までに648名、現地の協力団体との共催による研修に参加した研修生は6256名となる。その中でネパールから来日した研修生69名に震災後、被災者支援プロジェクトのプロポーザルを募集した。現在までに9件のプロポーザルが送られてきて、そのうち、5件に対し、19000ドル(2,356,000円)の送金をした。6月11日現在の募金総額:223件 3,164,219円

送金	団体名(NGO)	対象	地域(District)	予算額\$	研修生名(参加年)	内容	
19-May	SIDS(Sindhuli Integrated Development Service)	既プロジェクト対象地域の組合員、被災者	Sindhuli	3000	Deepak(2013)	テント、食糧、日用品	行政と連携
19-May	Kopila Nepal	小学校(5校)	Kaski, Gorka	4000	Bina(2004)	屋根のトタン板による補修	行政と連携
27-May	Console Mission	ダリット	Southj Lalitpur	4000	Narayan(1980)	食糧、衛生用品、保健教育	
15-Jun	BBP(Baudha Bahunipati Family Welfare Project)	2013年から関わっている自助組織	Shindhuplchowk	4000	Gopal(1984)	メンバーの家の再建	
15-Jun	CMC(Centre for Mental Health and Counseling)	母子、障害者(2VDC)	Nuwakot	4000	Rebecca(1998)	メンタルケア、人材育成	行政連携
	NPCS(Nutrition Promotion & Consultancy Service)	妊産婦、乳児(3VDC)	DOLAKHA	5240	Roshani(1997)	栄養と衛生	
	Japan Study Center	既プロジェクト対象地102家族(1VDC)	Shindhuplchowk	5000	Sudarshan(1992)	文房具、食糧、かや、石鹸、子供服	
	LOOM(女性のエンパワメント)	授乳期の母親	8 districts	200000	Jwala(2008)	乳幼児支援	
	Women Act(Womne Acting Transformative Change)	シングルマザー	Kavre, Bhaktapur	4000	Ishwari(1989)	メンバーの家の再建	

他に第三フェーズまでのプロポーザルあり

・選考のポイント  
元研修生が直接関わっている。  
継続的、中長期的な関わりがもてる。  
他の大きな支援がない。  
地方  
保健:社会心理的アプローチ  
災害弱者を対象

今後のグッドプラクティス プロジェクト例 - CMC - 行政、NGOを対象に社会心理的ケアの研修事業、地域保健システムづくりを進める。  
PFA- Psychological First Aid Volunteer の育成 - コミュニティ保健ボランティア、被災地の教師、青年、村会議員からリクルート  
短期的にはPTSDなどへの対処、中長期的には被災者自身がコミュニティ開発への参加度とレジリエンスを高めることを目的とする。  
社会心理サービスやストレスマネジメントのための教材作りも。以上の活動を郡行政の災害復興事業と連携して行う予定。